



mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

リニューアル
OPEN!

校門がスツキリさわやかにリニューアル!



校門工事が終了し、リニューアル校門が10日から通行可となりました。明るい色合いとなり、分厚かったコンクリート部分は削られ格子となりました。見通しも大変良くなり、安心というところです。

通った中学生が、「あれ?表札がまだ伊里中学校だ。」と言っていました。3月いっぱいはこの表札です。4月からは「伊里学園」と「伊里中学校」と2つの表記の表札となります。

下校時、生徒たちの何人かは「ワー、広くなったあ。」と。イヤイヤ、広さは変わってませんよ(笑)。

明るくなり、見通しも良くなると広く感じるものなのではないでしょうか。見通しが良くなったことで気が大きくなって、逆に事故でもあった日には本末転倒です。今まで以上に注意してくださいね。

傘の花咲くあいさつ運動



毎月10日は「小中合同あいさつ運動の日」

です。この日はなぜか朝だけ雨模様。傘を持って来ていない参加生徒たちが困っていたので、なぜか大量にある学校の置き傘を貸し出して出発です。

ということで、ご覧のように中学生だけが傘をさしてあいさつするという、なんとも不思議な光景となった橋の上でした。

終えて学校に帰る頃には、晴れ間さえ見えていた3月の空だったのでした。



あの日を忘れない



卒業式関係の話題が多かったため、掲載できませんでしたが、11日は「東日本大震災」から6年目の日です。あの日津波の光景が未だに目に焼き付いています。その後の放射能の問題もまだまだ解決とはいきません。遠い地の、遠い日の出来事として受け流すのではなく、我が身に振りかかる可能性も十分に考えて、「防災」「減災」について考えてみてください。



今年度最後のトイレボラ with 豚汁



11日(土)、今年度最後のトイレボランティアが朝7時半より行われました。

春らしくなってきたとはいえ、まだ水に触れると手に冷たさを感じる朝、そんなことをものともしない20名の生徒が参加しました。中には、前日入試を終えたばかりの3年生の姿も3人。卒業を前にボランティアに参加する姿は、下級生たちへの良いお手本です。

外トイレ、図書室前トイレ、草抜き、落ち葉拾いと分かれて活動です。今回はそれに加え、今年度ラストということで、松井先生が豚汁をふるまってくださいました。そのお手伝いも2名の生徒が行いました。豚汁に使った野菜も、前日2年生を中心にボランティアで収穫したものです。

それぞれの分担で汗を流し、憩いの席に集まり豚汁をいただきました。ここで恨み節を一つ。私、ちょっと仕事があって一度職員室へ。5分ほど遅れて豚汁をいただきにいくと、「先生ごめんなさい、もう残ってるの汁だけ」と松井先生(証拠写真参照)。いただく前は、「たくさんあるから、みんな2杯は食べられるよ～」と言っていたのに。いったいみんなどれだけ食べたんじゃ!!と、食い物の恨みは恐ろしいぞと、お腹の虫を鳴らしつつ、うらやましく思った秋山でした。まあそれだけエネルギーを使ったということでしょう。それにしてもねえ…(しつこい)。

しばらく様子を見てみると、周囲の生徒のお箸の入っていた袋を、自分から集めて捨てている2年生女子がいます。1年生男子は、先生が食べたおわんを片付けていました。さすがボランティア参加者!と嬉しくなりました。いろんなことを学習して成長していています。



そしてもう一つ…。終わって職員室で仕事をしていると、参加していた3年生女子が電話を借りに来ました。話をしていると、この後公民館の「学び塾」に行くということで、「昨日入試が終わったばかりなのにスゴいなあ」と言うと、「いえ、お礼のあいさつに行きます」と…。ちょっと頭に電気が走りました。エライ!感動です。それでも感動に負けず「通信に載せてもいい?」と聞いたプロ並み記者根性の秋山なのでした。

本当に立派な考え、態度ですね。卒業を控え、こんな姿を見せてくれて本当に嬉しいです。私たちが知らないだけで、あちらこちらでこのようなステキなことが起こっているのでしょうか。

明日はいよいよ卒業式です。卒業生、在校生、教職員、保護者、来賓、地域の方、それぞれが「この日を大切に」気持ちを出し、良い卒業の日にしましょう。

3年生にとって、忘れられないステキな1日になりますように。

